

この資料は、一般社団法人教科書協会の定める「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

令和7年度
中学校用
教科書

内容解説資料

中学生の音楽 中学生の器楽

027-72/027-83/027-84

027-72

豊かな感性を育む教科書です。
確かな学力を身に付け、



『中学生の音楽 2・3上』表紙イラスト

教育基本法との関連は
本書 p.40、44 へ

改訂のポイント

1

学びたくなる

人と音楽、社会と音楽との様々な関わりを知ることで、生徒が主体的に学びたくなります。

ここに注目！→ p.6/p.24



2

学びが分かる

何を学ぶのか、どのように学ぶのか、何を考えるのかを明確に示すことで、学びが分かります。

ここに注目！→ p.10/p.25



目次

改訂のポイント	2
音楽に触れたときの驚きや感動、 音楽で表現する喜びを描きました	4

『中学生の音楽』

1 自ら考える力を引き出します	6
様々な角度から音楽を捉える、「音楽って何だろう？」	8
2 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かります	10
分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現します	12
義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力を育みます	14
3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立てを示しました	16
各領域、分野の教材の内容を工夫し、より学びやすくしました	18
我が国や郷土の音楽文化を尊重する態度を育みます	21
見通しと振り返りによって主体的な学びを実現します	21
音楽の学習を通して社会とつながります	22

3

学びが深まる

主体的・対話的で深い学びを実現する「学びのコンパス」で、生徒の学びがより深まります。

ここに注目！ → **p.16 / p.27**

ICT

p.28

道徳教育、
人権教育

p.30

個別最適な学び、
協働的な学び

p.19、20、28

SDGs

p.22

ユニバーサル
デザイン

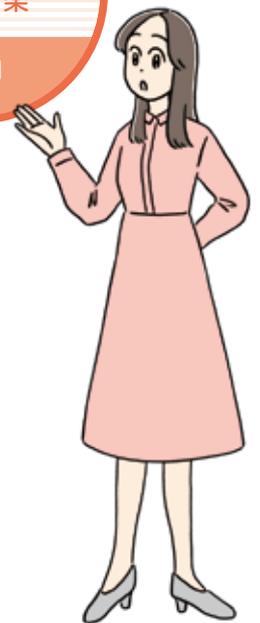
p.32

国際理解

p.20、31

我が国や
郷土の
伝統音楽

p.21



『中学生の器楽』

- 1 器楽の学習に向かう意欲を引き出します 24
- 2 音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分かります 25
- 3 分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現します 26
- 3 生徒の興味・関心を広げます 27

編集上の工夫

- 豊富なデジタルコンテンツで、
授業や個別最適な学びを支えます 28
- 道徳教育や人権教育に対する配慮 30
- 全ての人にとっての使いやすさを目指して 32
- 新曲紹介 34

資料

- 指導書／拡大教科書／学習者用デジタル教科書 36/38/39
- 検討の観点別に見た特色
 - 教育基本法との関連（中学生の音楽／中学生の器楽） 40/44
 - 学習指導要領との関連（中学生の音楽／中学生の器楽） 41/45
 - 編集上の工夫や特色（中学生の音楽／中学生の器楽） 42/46



令和7年度『中学生の音楽』
『中学生の器楽』に関する新規
掲載曲や動画などの詳細は、
教育芸術社ホームページから
もご覧いただけます。

<https://www.kyogei.co.jp/textbook/jh/jh-r7>

音楽に触れたときの驚きや感動、音楽で表現する

新しい教科書では、生徒が主体的に音楽の学びに向き合って、音や音楽との関わりを築き、豊かな情操が育まれることを願って、音楽活動に取り組む姿を表紙のイラストで表現しました。



1年 テーマ：音楽との出会い

生徒を取り囲むように、教材「赤とんぼ」「魔王」「春」にちなんだモチーフを描いています。



2年 テーマ：音楽をつくる、鑑賞する

タブレットを活用しながら音楽をつくる様子や、音楽に耳を傾け、その世界に浸る生徒の姿を描いています。

表紙装画：新井陽次郎さん

アニメーター、イラストレーター。

『借りぐらしのアリエッティ』『風立ちぬ』『ペンギン・ハイウェイ』他、多数の劇場作品にアニメーターや演出として参加。WEBやテレビCMのアニメ、書籍の装画や挿絵も多く手がけている。

喜びを描きました



教科書の
内容解説動画はこちら

<https://www.kyogei.co.jp/textbook/jh/jh-r7>



3年 テーマ：歌う、合唱する

歌詞の内容をイメージしながら声を響かせる楽しさや、ハーモニーを奏でる喜びを描いています。



器楽 テーマ：奏でる、合奏する

楽器の音色や響きのよさを捉えて演奏したり、互いの音を聴き合いながら合奏したりする楽しさを描いています。



表紙のイラストは
続き絵になっています。
3年間の学習がつながり、
深まるよう
願いを込めたものです。

自ら考える力を引き出します

巻頭ページでは、各界で活躍するかたから中学生へのメッセージとして、音楽や芸術とご自身との関わりについて語っていただきました。自ら考える力を引き出し、学びに向かう力や「音楽的な見方・考え方」の育成を後押しします。

音楽の一員になれる時間

幼い頃から歌や踊りが大好きだった私は、中学生になる前からミュージカルの教室に通っていました。でもほんとうに地味な存在で、せりふがたった二言、みたいな役ばかり。でも、鳴り響く音に囲まれて歌を歌い、舞台上立って音楽の中の一員になれる時間が何よりうれしくて、それだけで十分でした。主役ではない、おおぜいの中の誰かを演じる魅力は今でも感じていますし、舞台作品は照明を浴びる人だけにつくられるのではなく、たくさんの人たちの役割と行動によって成り立つものであると、ミュージカル教室とそのときの恩師から学んだように思います。

中学校の音楽の授業も大好きでした。知らなかった音楽と出会えたり、楽譜を見ながら“タン タン”とリズムを打ったり——これは今も語談みをするときに役立っています。

そしてなんといっても合唱です。もしかしら中学時代にしか経験できないかもしれませんがね。でも、この時期って気持ちが揺れ動くから、がんばらないほうがカッコいいという雰囲気になるのも分かります。当時の私も、応援団や生徒会に参加しながら、ほんとうは目立ちたくないという矛盾した気持ちをどこか感じていました。けれど、今の私からは自信をもってこう言えます。

「一生懸命歌う姿のほうが、すごいです！」
皆さんの中にも、なぜ歌わなければいけないんだろうと思ったり、恥ずかしがったりしている人がいるかもしれませんが、中学時代にクラスの仲間と歌う時間は、きっと宝物になるはずです。

かみしらいし まる
上白石萌音

俳優・歌手。2011年芸能界デビュー。2014年公開の映画「無敵はレディ」で初主演。その演技力と歌唱力が高く評価され、新人俳優賞などを受賞。その後、ドラマ・舞台・歌手デビューなど活躍の幅を広げ、2023年には舞台「千と千尋の神隠し」、ミュージカル「グディ・ロング・レッグズ」で、第30回読売演劇大賞の最優秀女優賞を史上最年少で受賞。



1年p.2

俳優・歌手：上白石萌音

二次元コードから、メッセージ動画にアクセスすることができます。
中学生の皆さんへのメッセージを、ぜひご覧ください。

伝統と革新



2年p.2

歌舞伎役者：
松本幸四郎、
市川染五郎

同書p.54～には「歌舞伎」を掲載。

つくりあげる
喜び



かけがえのない時間

3年p.2

ピアニスト：反田恭平

きっかけと情熱



器楽p.2

打楽器奏者、ドラマー：
石若 駿

同書p.86には同氏作曲の「Bodipa Beats Z」を掲載。

様々な角度から音楽を捉える、「音楽って何だろ

あなたにとって、音楽とは——。

様々な分野で活躍するかたに、ご自身にとっての音楽とは何かを語っていただきました。

3年間を通して、音楽と向き合い、主体的に考えることで、より幅広い価値観をもつことができます。

⑦「自分の世界を広げるもの」

音楽って何だろう？

自分の世界を広げるもの

音楽をつくり、奏で、楽しむ動物は人間だけです。トリやクジラの中には、求愛や警告の信号を歌のように発するものもありますが、それらは自由なメッセージがこめられる人間の歌とは異なります。

では、音楽は何の役に立っているのでしょうか？進化論を提唱したチャールズ・ダーウィンが叩きかけたこの謎は、まだ解かれていませんが、それでも音楽に何か大きな意味があることは確かです。それは、世界のどこへ行っても人々が愛する音楽があり、うれしいときに仲間と口ずさむ歌があるからです。何かの役に立っていなければ、これほど大切にされるはずはありません。

音楽の起源は古く、4万年よりはるか昔から存在したことが明らかになっています。世界のどの地域の音楽にも、それぞれの魅力があるので、皆さんも学校で知らない音楽にたくさん触れ、ぜひ世界を広げてください。

かいよすのり
海部陽介



人類進化学者。化石の分析などを通じて、原人からホモ・サピエンスに至る約200万年に及ぶアジアの人類史や、「人間らしさ」がどのように生まれたかについて研究している。考古学や遺伝学などの分野とも積極的に交流し、総合的な人類史の構築を目指している。



人類進化学者
海部陽介さん



5

宇宙飛行士
野口聡一さん

▼「一生を通して楽しむもの」



宇宙飛行士。1996年に宇宙飛行士候補に選抜され、通算3回の宇宙飛行、うち2回は国際宇宙ステーション(ISS)での長期滞在を経験。ISSでは、船外活動や、宇宙環境を利用したさまざまな実験を行ったほか、「宇宙からのショパン生演奏」動画などを配信した。

1年p.4

▼「寄り添ってくれるもの」

アートディレクター、クリエイティブディレクター。武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。広告代理店勤務を経て自身の会社を設立。「ご縁」をモットーに、広告、ミュージシャンのアートワークの他、動物園や保育園の空間ディレクションなども手がける。



アート
ディレクター
森本千絵さん

3年p.4

▼「じぶんの、そして、ひとのもの」

音楽・
文芸批評家
小沼純一さん



音楽・文芸批評家。第8回出光音楽賞(学術研究部門)受賞。創作と批評を横断した活動を展開している。著書に『小沼純一作曲論集成』『武満徹追憶——遠ざかる季節から』『本を弾く——采るべき音楽のための読書ノート』、創作に『ふりかえる日、日』などがある。

器楽p.4

音楽科で身に付けられる資質・能力が一目で分

目次に続くページに、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。

1年p.8



「中学生の音楽1」の学習内容

このページでは、皆さんが音楽科で

学びに向かう力、人間性等

□ 音楽によって生活を明るく豊かなものにしよう

思考力・判断力・表現力

知識

技能

歌唱

知識や技能を得たり生かしたりしながら、

歌唱表現を
創意工夫する

曲想と音楽の構造や
歌詞の内容との関わり

音色や響きおよび言葉の特性と
曲種に応じた発声との関わり

発声、発音、身体の使い方

全体の響きや各声部を
聴きながら他者と合わせる

ワイルド フォント ゴ ウエイ
We'll Find The Way 10
音色 テクスチャ

その先へ 12
旋律 強弱

主人は冷たい土の中に 18
旋律 強弱 形式 構成

心の歌 涙辺の歌 22
リズム 旋律 強弱 形式

心の歌 赤とんぼ 28
速度 旋律 強弱

夢の世界を 30
音色 リズム テクスチャ 構成

君をのせて 34
旋律 テクスチャ 強弱

ソーラン節 60
音色 旋律 テクスチャ

表現

創作

知識や技能を得たり生かしたりしながら、

創作表現を
創意工夫する

音のつながり方の特徴

音素材の特徴および構成上の特徴

課題や条件に沿った
音の選択や組み合わせ

My Melody 20
音のつながり方の特徴を
生かして旋律をつくろう。
リズム 旋律

Let's Create! 38
構成を工夫して、
3つの場面の音楽をつくろう。
音色 リズム テクスチャ 強弱 構成

三つの柱 資質・能力の

生徒にとっては、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に、指導者にとっては、1年間の学習指導計画を立てる際の、また評価規準を考える際の参考にすることができます。



かります



学習する内容を示しています。

1年間で学習する
内容が分かる
「学びの地図」



それぞれの教材で
どのようなことを学習
するのか、確認するこ
とができます。



〔共通事項〕に示されている
「音楽を形づくっている要素」

鑑賞

知識を得たり生かしたりしながら、
曲や演奏に対する評価とその根拠
生活や社会における意味や役割
表現の共通性や固有性

自分なりに考え、
味わって
聴く

曲想と音楽の構造との関わり
音楽の特徴とその背景となる
文化や歴史、他の芸術との関わり
日本やアジアの音楽の特徴、音楽の多様性

イメージと音楽	36
春	42
魔王	46
雅楽「平調 越天楽」	52
華曲「六段の調」	56
日本の民謡	58
アジアの諸民族の音楽	64

音楽を形づくっている要素 (p.92)

- 音色** 声や楽器の音色、身の回りの音など
- リズム** 拍や拍子、さまざまなリズムパターンとその反復や変化など
- 速度** ふさわしい速度の設定や速度の変化など
- 旋律** 音のつながり方、フレーズ、旋律のもととなる音階や調など
- テクスチャ** 和音やハーモニー、音や旋律の重なり方など
- 強弱** ふさわしい音量の設定や音量の変化など
- 形式** 音楽のさまざまな形式など
- 構成** 反復、変化、対照など

各教材に示した「音楽を形づくっている要素」は、本書の学習内容に即したものに限定されていますが、授業に合わせて適宜増減して扱うことができます。

教材と学習内容との関連

ここでは、各教材で扱うことのできる学習内容を全て示し、その関連度の大小を、下のように色の濃さで表しています。実際の授業においては、教材のねらいに応じて、適宜学習内容を選ぶことができます。



分かりやすい紙面構成で、確実な学びを実現し

音楽科における三つの資質・能力を確実に育成できるよう、「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」などを各教材に設定し、一目で分かるように示しています。

NEW 楽曲の紹介文

どのような曲なのかを簡潔に示すことで、生徒が見通しをもち、主体的に学習に取り組むことができます。

※共通教材と鑑賞教材に示しています。

学習目標

「何を学ぶか」を明示し、生徒がそれを意識することによって、主体的に学習に取り組むことができます。

活動文

学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示しています。

音楽を形づくっている要素

「音楽的な見方・考え方」を働かせる際の大切な視点となる「音楽を形づくっている要素」を各教材に例示しています。

心の歌 はまべ **浜辺の歌** 林 古溪 作詞/成田為三 作曲

歌詞に描かれた情景は、音楽にどのように表されているだろう。

「浜辺の歌」は、浜辺の情景が描かれた歌詞と、その様子を表すような旋律や伴奏が特徴的な曲です。

8分の6拍子でつくられた旋律の特徴や強弱の変化を生かし、表現を工夫して歌いましょう。

♪=104~112 優美に

1 あし た-は ま-べ -を さ-ま -よ え-ば -む
2 ゆ う べ-は ま-べ -を も-と -お れ-ば -む

か し-の こ-と -ぞ し-の -ば る る -か
か し-の ひ-と -ぞ し-の -ば る る -よ

24 夕暮れどきの辻堂海岸

ます

「楽曲の紹介文」や「考えたいポイント」は、授業の導入にも活用できますね。



NEW 考えたいポイント

「問いかけ」をすることで、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができます。さらに、「見方・考え方」を働かせることで深い学びにもつながります。

旋律や強弱が大きく変化するのは何項目かな？



そのとき、歌詞の内容はどうなっているかな？

この曲の構成は二部形式だね。



ぜ の お ー と よ く も の さ ま よ ー よ
す る な ー み よ か え す な み よ ー つ

す る な ー み ー も か い の い ろ も ー
き の い ー ろ ー も ほ し の か げ も

リタルダント
rit.
p.97

全体符
p.94

用語や記号など

学習指導要領の（共通事項）に示されている用語や記号などを、新出時に大きく取り上げています。

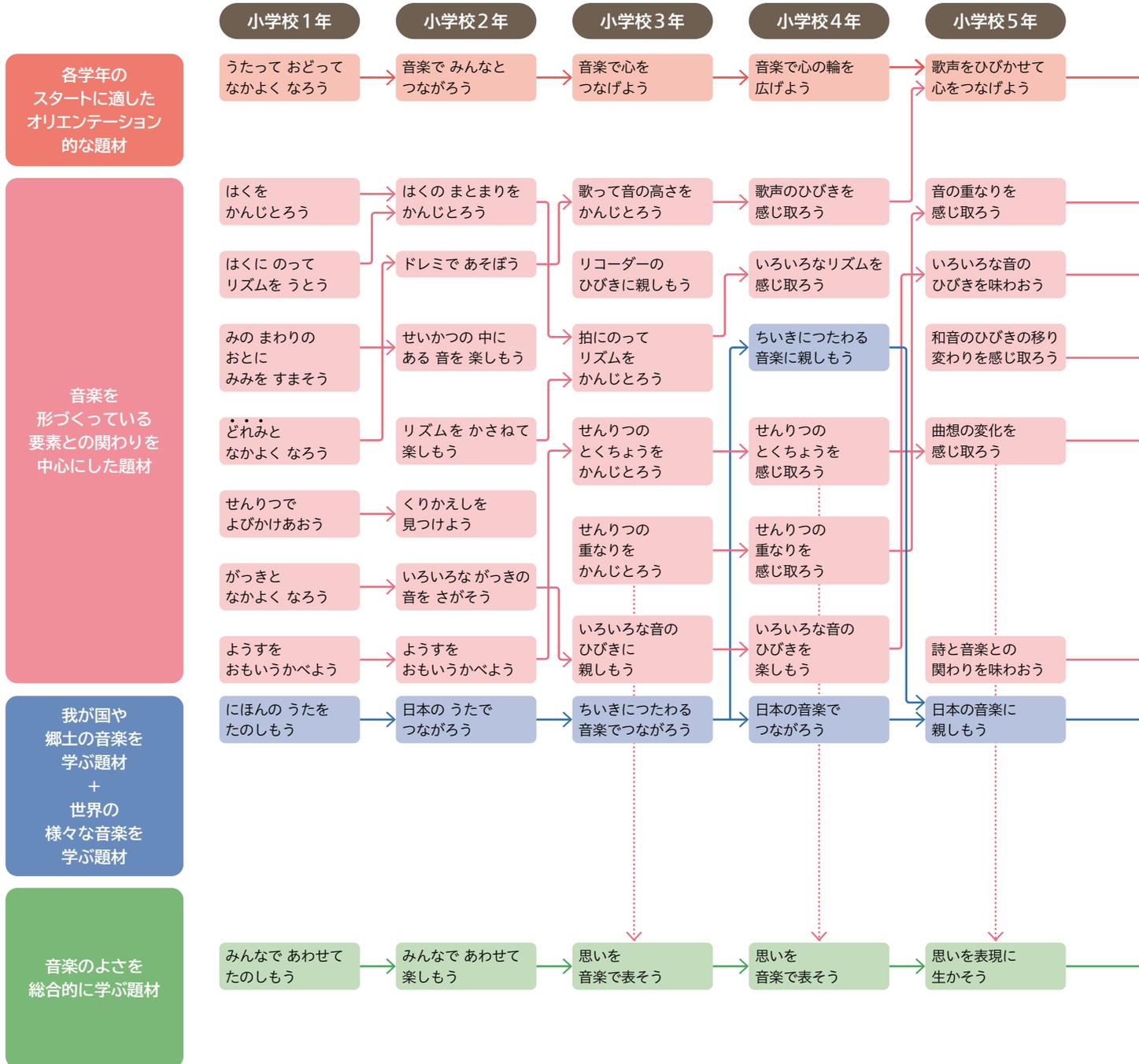
2 旋律／カラビナ



義務教育9年間の系統的な学びで、資質・能力

生徒の発達段階に応じて三つの資質・能力を無理なく育むことができるよう、
小学校、中学校9年間の系統性と一貫性を重視して学習内容を配列しました。

※小学校は『小学生の音楽』（令和6年度版）における「題材名」を、中学校は『中学生の音楽』における教材の「学習目標」を示しています。
※小学校における鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏に関する題材は、『中学生の器楽』の内容につながります。



を育みます

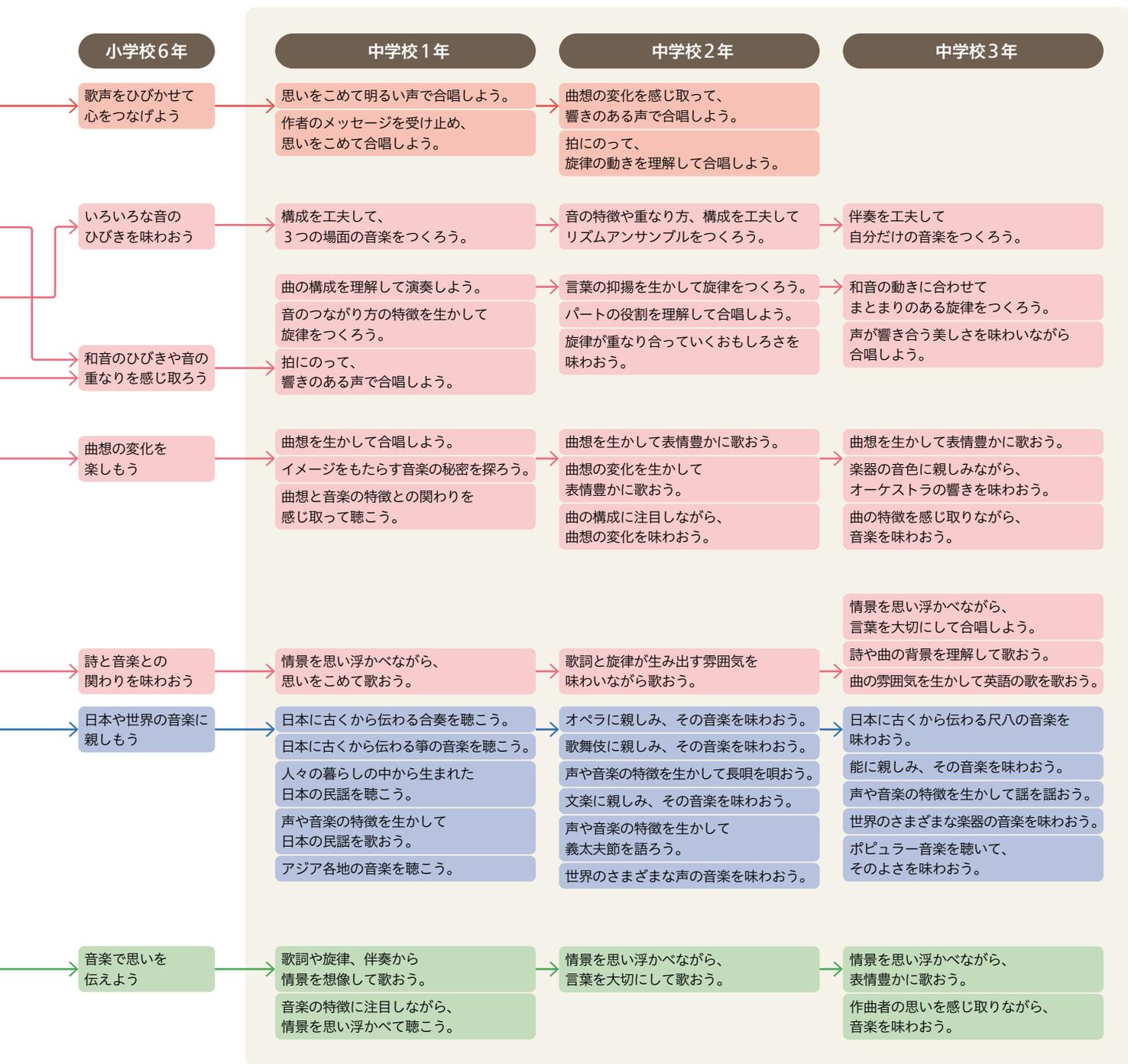


下記資料は、教育芸術社ホームページからダウンロードできます。

- ・年間学習指導計画作成資料
- ・題材の評価規準例
- ・題材と学習指導要領との対応

<https://www.kyogei.co.jp/textbook/jh/jh-r7/document>

9年間を見通すことは、カリキュラムマネジメントの推進に向けた手がかりとなります。



主体的・対話的で深い学びの実現に向けた手立

教科書の手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができます。また、ワークシートを使うことで、生徒が自分の考えを整理しながら学習を進めることができます。



NEW

新設の「学びのコンパス」で、主体的・対話的で深い学びを実現します（歌唱7教材）。

主体的な学び

学びの手立てを示すことにより、見通しをもって学習に取り組むことができます。

対話的な学び

生徒どうしや指導者との対話を促すことで、自己の考えを広げたり深めたりすることができるようにしました。

深い学び

「見方・考え方」を働かせて深い学びを実現するための手立てを適宜示しています。

二次元コードからワークシートをダウンロードすることができます。

学びのコンパス

とら

旋律の特徴や曲の構成を捉えよう

1 楽譜を見たり歌ったりしながら、「主人は冷たい土の中に」の各段の旋律の特徴や強弱などがどのようなになっているかを確かめ、下の表に書きましょう。

	旋律の特徴 (リズムや音の上がり下がり)	強弱	終わりの音の階名	旋律の音階名	
1 段目	途中で音が跳躍して音の高さが大きく変化する部分がある	mp	レ	続く感じ	<div style="border: 1px dashed #ccc; padding: 5px; font-size: small;"> 旋律の音階名 この曲のように長調の場合、旋律は、ドで終わると終わる感じ、ド以外の音で終わると続く感じになります。 </div> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; font-size: small; margin-top: 10px;"> 表が完成したら、もう一度歌って確かめてみよう。このような曲の構成を、二部形式というよ。 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;"> 二部形式 ● p.96 </div>
2 段目					
3 段目					
4 段目					

2～4段目については、1段目と比べて同じところ、または違うところを書こう。

2 ①で書いたことをもとに、この曲の旋律の特徴や曲の構成がどのようなになっているか、グループで話し合しましょう。

3 ②で話し合ったことを踏まえながら、どのように歌いたいかを考え、表現の仕方を工夫しましょう。

3段目は、旋律の特徴が他の段とは異なっているので、気持ちが伝わるようにのびやかに歌いたいな。そのためにはどんな工夫をすればいいかな。

おなかの支えをしっかりと保ちながら、息の流れが帯のように伸びていくイメージで声を出すと、のびやかに歌うことができるよ。

4 4段目には○が付いています。○を付けて歌うことによって、どのような感じになりますか。○の付いた音をどのように延ばすとよいか、また、○の後は、強弱や速度をどのように工夫して歌えばよいか考え、いろいろな表現を試してみましょう。

イラスト別/カラピアノ

てを示しました

鑑賞

NEW

鑑賞教材にも「学びのコンパス」を掲載しています（7教材）。



主体的な学び

対話的な学び

深い学び

学びのコンパス

音楽の特徴を捉えよう

1 「あ」の①-③の部分で、それぞれのリズムと関わらせながら聴いて、音楽の特徴として聴き取ったことや感じ取ったことを、下の表に書きましょう。

No.	聴き取ったこと （聴き取った音楽の種類、感じ、他の聴き取りの様子）	感じ取ったこと
1		
2		
3		

2 ネットに掲載されている録音が、音楽でどのように表現されているのか、①で書いたことをもとに話し合い、もう一度その部分を聴いて確かめましょう。

3 「あ」の第1楽章を聴いて聴き、この曲の音楽の特徴について気付いたことや、この音楽のよさについて感じたことなどを書きましょう。

①で、①で聴いている録音と異なるよさや特徴がある音楽を探してみよう。

②の録音と異なるよさや特徴がある音楽を探してみよう。

創作

創作教材では、丁寧に手順を示すことで、生徒も指導者も無理なく学習を進めることができるように配慮しました。

1年p.45

2年p.34

Let's Create!

★課題や手順に沿って、創意工夫して音楽をつくりましょう。

課題や目的
① 選んだイメージと結びつけながら、原曲、変化、対照などの構成を工夫して、4分の4拍子、全小節の2人で演奏するリズムアンサンブルをつくる。

手始め
聴いてびっくりした音、基本の音数として捉えよう。

② Warning upで示している3つの選んだイメージのうち、2つ以上を用いる。

① 手始めとリズムのイメージを感じ取って表に書きましょう。

② 次のように2人でリズムを聴いて手始めで打ち、それぞれの選んだイメージによる特徴を感じ取って表に書きましょう。

③ 2人が同じリズムを聴く
2人が同じリズムで打ち合わせる
2人が異なるリズムを聴く

④ 選んだイメージ
選んだイメージと結びつけながら、原曲、変化、対照などの構成を工夫して、4分の4拍子、全小節の2人で演奏するリズムアンサンブルをつくる。

⑤ 2人が異なるリズムで打ち合わせる
異なるリズムを聴く

ワークシート

② 選んだイメージ（または考えたイメージ）

④ リズムパターンの例

1 ペアになり、つくりたいリズムアンサンブルのイメージを下の①-④から選んで、⑤-⑥の②に書きましょう。自分たちの考えたイメージでつくりたい場合は、それを任意で書きましょう。

① 前後に向かってだんだん 盛り上がるような音楽
② 2人で会話している ような音楽
③ 2人が競合している ような音楽

2 ⑤-⑥の②のリズムパターンの例から④のイメージに合うものを好きな数だけ選び、音の出し方を工夫してリズムアンサンブルをつくらせよう。⑤-⑥の②に書きましょう。また、④のイメージを表現するために、音の出し方や原曲、反復、変化、対照などの構成を工夫した点を⑤-⑥の③に書きましょう。

自分たちがリズムパターンを考えてつくってみたい。

原曲のイメージは2つのリズムパターンをそれぞれ使います。2人で演奏しているようにしました。

原曲とは異なるように、音が前後するリズムを書きました。

原曲たちが使っていたイメージに基づいて、2人でリズムを打って聴かせるつもりです。

3 中間発表をして、つくった音楽について意見交換をしましょう。

4 意見交換したことを参考に音楽を完成させて、もう一度発表しましょう。

② リズムアンサンブル

A	
B	

③ ④のイメージを表現するために、音の出し方や原曲、構成を工夫した点

各領域、分野の教材の内容を工夫し、より学び

学校現場からのご意見やご要望を踏まえて、確実に学習目標に迫ることができるよう、内容をブラッシュアップしました。

歌唱

知覚・感受を促す

気付いたこと（知覚）と感じ取ったこと（感受）との関わりについて考える場面を設け、それを「どのように歌いたいか」という思いや意図につなげることができるよう工夫しました。

2年p.23

歌唱

資料の充実

歌詞の内容を理解したり、歌唱表現を工夫したりする際の手がかりとなるよう、歌詞のイメージに即した写真を大きく掲載しました。

3年p.10

二次元コードからアクセスできる動画も充実させました。



※ここに掲載されているデジタルコンテンツの画像は開発中のものです。内容やデザインなどは変更になる場合があります。

すくしました

創作 ICTの活用

思いや意図をもって創作に取り組めるように、キャラクターの吹き出しや設問の内容に配慮しました。



創作の学習を無理なく効果的に進められるように、二次元コードからアクセスできるデジタルコンテンツを充実させました。個別最適な学びや協働的な学びの実現をサポートします。

1年p.20



デジタルコンテンツは、教科書紙面と同じ体裁になっています。



つくった旋律を簡単に再生することができます。自分の思いや意図が反映されているかを確認したり、作品を共有したりする際にも活用できます。



鑑賞

個別最適な
学びの実現

複数の曲の中から、個々の興味・関心に応じたものを選択して学び（学習の個性化）、**個別最適な学びの実現**につなげていきます。

さまざまな映画とその音楽

映画「ゴジラ」(1954年)から
「ゴジラのテーマ」(伊藤 隆 作曲)

怪獣ゴジラが登場する映画「ゴジラ」シリーズの第1作。「ゴジラのテーマ」は、もともとゴジラに立ち向かう人間のテーマとして作曲されたもので、ゴジラに攻撃を仕えるシーンなどに使われている。



映画「E.T.」(1982年)から
「フライング テーマ」(ライオンズ 作曲)

少年エリオットと、宇宙船に乗りこびて地球に取り残された宇宙人E.T.との友情を描いたサイエンスフィクション映画。「フライング テーマ」は、エリオットがE.T.を自転車で乗せて空を見せるシーンの他、種々のシーンに使われている。



映画「バックトゥーザフューチャー」(1985年)から
「バックトゥーザフューチャー」(スリム・ストリ 作曲)

高校生のマーティが、親友で科学者の発明したタイムマシンで過去や未来へ行き、そこで巻き込まれる騒動を描いたサイエンス フィクション映画。同名のテーマ曲は、マーティがタイムトラベルに出発するときはじめ、劇中のさまざまなシーン



映画「ハリー・ポッターと賢者の石」(2001年)から
「ヘドウィグのテーマ」(スライムス 作曲)

小説「ハリー・ポッター」シリーズを原作とする同名の映画シリーズ第1作。少年ハリーが魔法専門学校へ入学し、仲間とともに試練に立ち向かうファンタジーアドベンチャー映画。全作品のテーマ曲にもなっている「ヘドウィグのテーマ」は、第1作でハリーのペットである白フクロウ「ヘドウィグ」を表す曲としてつくられた。



鑑賞

音楽の多様性を
理解する

個々の音楽の特徴を捉え、さらに複数の音楽を比較したり関連付けたりするなどして、それぞれの音楽の共通性や固有性を理解できるように工夫しました。

オペラと歌舞伎のよさについて考えよう

オペラと歌舞伎は、1600年前後の同時期にそれぞれイタリアと日本で生まれました。どちらも総合芸術であり、音楽や舞踏、衣装や装飾などさまざまな要素から成り立っています。「アニー・ボレー」(Compt)と「紅蓮華」(Dobell)で学んだことを振り返りながら、それぞれの劇場のよさを整理して、オペラと歌舞伎のよさについて考えましょう。

1 それぞれの劇場のよさを下の表に書きましょう。

劇場のよさ(オペラ)	アニー・ボレー	劇場のよさ(歌舞伎)
調音の良さ 音色、響きの良さ		
舞台の豪華さ		
劇(ストーリー)と音楽との 結びつき		
舞踏		
演技		

2 ①の表をもとに、オペラと歌舞伎のよさや、違いについて気付いたことや、考えたことなどをまとめ、意見交換をしましょう。

意見交換のねらいや
共通点は、なぜ書か
れたのかなどについて
意見、感想など
書き込んでみましょう。
意見交換のねらいや
共通点は、なぜ書か
れたのかなどについて
意見、感想など
書き込んでみましょう。

2年p.61

生涯にわたり音楽文化に親しむきっかけとなるよう、総合芸術であるオペラや歌舞伎の流れを受けて、中学生に比較的なじみのあるミュージカルについて新たに掲載しました。

2年p.52

ミュージカル
musical

ミュージカルは、歌と舞と演劇が融合した総合芸術。19世紀後半から20世紀前半にかけて、アメリカやヨーロッパを中心に発展し、大衆的な娯楽として普及した。近年では、ミュージカルが単なる娯楽を超えて、社会問題や歴史をテーマにした作品も増えてきた。ここでは、代表的なミュージカルを紹介する。

レ・ミゼラブル
ミュージカル 1980年

フランス革命を背景にした社会問題を描いたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

オペラ後の巨人
ミュージカル 1980年

オペラ界の巨匠をテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

西に飛べば
ミュージカル 1980年

西部劇をテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

ウエストサイド物語
ミュージカル 1957年

ニューヨークの貧民窟を舞台にしたミュージカル。1957年に発表された。1961年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

シェンブルの音楽
ミュージカル 1980年

シェンブルの音楽をテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

サウンド オブ ミュージック
ミュージカル 1962年

音楽の天才をテーマにしたミュージカル。1962年に発表された。1965年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

エリザベト
ミュージカル 1980年

エリザベト女王をテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

美女と野獣
ミュージカル 1987年

美女と野獣の物語をテーマにしたミュージカル。1987年に発表された。1990年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

ジューズ クライスト スーパースター
ミュージカル 1980年

ジューズ クライスト スーパースターをテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

ユタと不思議な仲間たち
ミュージカル 1980年

ユタと不思議な仲間たちをテーマにしたミュージカル。1980年に発表された。1985年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

ライオンキング
ミュージカル 1997年

ライオンキングをテーマにしたミュージカル。1997年に発表された。2002年に映画化された。2012年に日本でも上演された。

ララランド
ミュージカル 2016年

ララランドをテーマにしたミュージカル。2016年に発表された。2017年に映画化された。2018年に日本でも上演された。

我が国や郷土の音楽文化を尊重する態度を育みます

自国の文化に対する誇りをもつことができるよう、我が国の様々な伝統音楽や伝統芸能を取り上げたり、生徒が興味・関心をもって自分の住む地域の文化に親しむことができるよう、各地に伝わる民謡をはじめ、祭りや芸能を取り上げたりしました。



2年p.57



2年p.60

見通しと振り返りによって主体的な学びを実現します

1年間の学習を見通したり振り返ったりする場面を設けることで、生徒が主体的に学びに向かい、学習を深めることができるように配慮しました。

「学びの地図」で学習の見通しをもつ



1年p.8

各教材の学習

1年間の学びを振り返る(身に付いた力でプレゼンする)



1年p.91

音楽の学習を通して社会とつながります

音や音楽が、生活や社会、文化とどのように関わり、どのような意味や価値をもつのかといったことに生徒が意識を向けることができるようなページを設けました。

生活や
社会の中の
音や音楽

3年p.66

生活や社会の中の音や音楽

仕事と音楽

社会の中には音楽に関わる仕事がたくさんあります。それは文化、教育、そして人々を笑っています。

音楽や音響の世界でも心身のケアのために音楽の力が活用されています。その人の健康状態に合わせて適切な活動内容が提案されます。

コンサートホールで、4人組バンド、PA(Public Address) 音響設備を使って音の調整をするPAエンジニア。音の記録やデータ管理なども担当し、ライブの音を確実に届けます。

インドネシアには、楽器の修理も、音に関するさまざまな職人が活躍しています。

ギターやドラムを演奏し、楽器の修理も担当する職人が活躍しています。

音楽教育とSDGs

日本には多くの人が音楽教育の専門家として活躍しています。また、さまざまな分野の教育に関与し、地域の教育環境の改善に貢献しています。中でも音楽教育は人々の心を豊かにし、創造性を育む重要な役割を果たしています。

特に、世界中でSDGsの目標として、SDGs(Sustainable Development Goals) 持続可能な開発目標と掲げられています。これは2030年までに世界の課題を解決するための目標です。その一つに「質の高い教育をみんなに」というものがあります。

上記の他にも音楽教育の他にも、「世界各地の人々に質の高い音楽教育を提供する」というSDGsの考え方を活用したものがたくさんあります。

楽器とSDGs

楽器作りは大切な伝統的技術です。伝統によって持続的に継承し、より可能性のあるものもあります。また、楽器の中心になってNGO(Near-governmental Organization) 非政府組織や市民団体の活動を支える取り組みが行われています。

特に、これまでプラスチックで作られてきたギターやドラムなどには、再生可能な素材を使用したり、楽器の製造に環境負荷の少ないものに転換するなどの、楽器業界のSDGsの取り組みが広がっています。

これらを通じて出したSDGsの目標を達成するための取り組みがあります。

「生活や社会の中の音や音楽」では、学年に応じたテーマを基に、音や音楽と、生活や社会、文化との関わりについて、段階的に視野を広げて考えられるよう工夫しました。

1年p.68 「音や音楽の果たす役割」

「鐘の音」や「サウンドロゴ」といった身の回りの音や音楽が、生活の中で果たす役割を考えます。また、学校の中で聞こえてくる環境音などに耳を傾ける活動を掲載しています。

2年p.91 「人と人をつなぐ音楽」

演奏家の生演奏を間近で聴いたり、指導を受けたりする様子や、時代の変化やテクノロジーの発展に伴い広がりを見せているリモート演奏など、音楽を通した人と人とのつながりを紹介しています。

3年p.66 「仕事と音楽」

社会との関わりをより意識できるよう、音楽に関わる仕事を紹介しています。

▶▶▶ SDGsの視点で考える

3年生では音楽とSDGs(持続可能な開発目標)との関わりを2つの視点で紹介しています。

1つ目は、世界各地で音楽教育を支える「青年海外協力隊員」や支援スタッフとして働く日本人の活動についてです。日本とは全く違う環境で音楽教育を受ける世界の子どもたちに思いをはせ、現地の子どもたちにとって、音楽がどのようなもので、どのような役割を果たすのかを考えることで、**国際理解**や**道徳的な心情**を養う一助となることを願っています。

2つ目は、音楽には欠かせない楽器の製造における、**森林伐採**や**海洋ゴミ**など昨今の**環境問題**への企業の取り組みについてです。楽器を選ぶ際の指標にしたり、**楽器を大切に扱う意識**をもったりするきっかけとなるよう期待しています。

著作権

音楽に関する知的財産権について、生徒に身近な話題を例に、漫画を交えて親しみやすく解説しました。作品や著作者の創造性を尊重する態度の形成を図り、そのことが音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解を促します。

教科等横断的な
学びの充実

他教科との関連を図ることで、生徒の興味・関心を高め、より深い学びにつなげることができるよう配慮しました。

技術

「著作権」については、技術科と関連させて取り上げることができます。

ルールを守って音楽を楽しもう!

著作権とは～音楽は誰のもの?～



どの音楽にも「つくった人」がいます。音楽は、つくる人の創造力や努力によって生み出されます。絵画、小説、詩などの著作物も同様です。このように、人間が考えてつくったものを「知的財産」といいます。そして、音楽などをつくった人(著作者)がもつ

ている権利を「著作権」といい、著作者は著作権をもつことが、「著作権法」という法律で定められています。ただし、著作者が亡くなった翌年から通常70年が過ぎると著作権の保護期間が終了するため、著作者の許可がなくても利用することができます。

著作隣接権とは～CDや配信される音楽の利用で気を付けたいこと～

音楽をつくった人のもつ「著作権」とは別に、CDに収録されたり配信されたりする音楽には「著作隣接権」と呼ばれる権利があります。これは、レコード製作者(レコード会社など)の他、放送事業者、有線放送事業者(放送局)、有線放送局)や実演家(演奏家や俳優など)がもつ権利です。例えばCDに収録されている音楽については、それを制作したレコード会社などが権利をもっています。配信される音楽についても同

様です。ですから、それらの音楽を権利者の許諾を得ることなく複製したり、SNSに投稿したりすることはできないので気を付けましょう。



CASE 1 好きなバンドのCDを複製して、友達にあげる。

無断でCDを複製し配布することは、著作者や演奏者、レコード会社などに課するべき報酬を減らすことになります。DVDや録音したテレビ番組、漫画などについても同じことがいえます。



外国語

Hey Jude

曲の雰囲気を生かし

英語の語彙を生かした旋律やリズムに気を付けながら歌いましょう。

Slowly

3年p.26 英語の曲の歌唱

社会 (歴史)

1年p.51 日本の音楽と時代背景との関わり

国語

「古池や 蛙鳴び込む 水の音」 詠嘆詞

ふるいけや かみずとびこむ みずのあと

2年p.31 俳句を用いた旋律創作

社会 (地理)

イタリアの気候と「四季」

イタリアは、気候の四季がはっきりしているところだといわれています。また、四季の別、風土が気候に大きく関係しているため、気候の別によって気候に合った服装や行動の仕方も変わります。

1年p.44 曲の特徴と風土との関わり

器楽の学習に向かう意欲を引き出します

『中学生の器楽』も『中学生の音楽』（音楽一般）と同様、学びに向かう力や「音楽的な見方・考え方」の育成を後押しし、幅広い価値観を養うことができるように内容を工夫しています。



奏でる、
合奏する

きっかけと
情熱

器楽表紙

表紙には、
音楽で表現する喜びを
描きました

→p.4

器楽p.2

打楽器奏者、ドラマー：石若 駿



自ら考える力を
引き出します

→p.6

「じぶんの、そして、ひとのもの」

楽器と人



様々な角度から
音楽を捉える
「音楽って何だろう？」

→p.8

器楽p.4

音楽・文芸批評家：小沼純一

音楽科で身に付けられる資質・能力が 一目で分かります

目次に続くページに、学習指導要領に示された三つの資質・能力と、それに対応する学習内容や教材を示した「学びの地図」となる内容を配置し、この教科書を通して身に付けられる学力が一目で分かるようにしました。

資質・能力の三つの柱

〔共通事項〕に示されている 「音楽を形づくっている要素」

「中学生の器楽」の学習内容

このページでは、皆さんが音楽科で学習する内容を示しています。

学びに向かう力、人間性等

□ 音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいこう

	器楽	表現	創作
思考力・判断力・表現力	知識や技能を得意にしたりしりながら、 曲にふさわしい 器楽表現を 創意工夫する	知識や技能を得意にしたりしりながら、 まとまりのある 創作表現を 創意工夫する	
知識	曲想と音楽の構造や 曲の背景との関わり 音色や響きと奏法との関わり	音階や言葉の特徴および 音のつながり方の特徴 音楽材の特徴および構成上の特徴	
技能	奏法、身体の使い方 全体の響きや各声部の音を 聴きながら他者と合わせる	課題や条件に沿った 音の選択や組み合わせ	

音楽を形づくっている要素

- 音色** 声や楽器の音色、身の回りの音など
- リズム** 拍や拍子、さまざまなリズム、パターンとその変換や変化など
- 速度** ふさわしい速度の設定や速度の変化など
- 調律** 音のつながり方、フレーズ、旋律のもととなる音高や調など
- テラスチューブ** 和音やハーモニー、音や旋律の重なり方など
- 響き** ふさわしい音質の設定や音質の変化など
- 形式** 音楽のさまざまな形式など
- 構成** 反復、変化、対照など

各教材に示した「音楽を形づくっている要素」は、本書の学習内容に示したものに限定していませんが、授業に合わせて適宜参照して使うことができます。

リコーダー 10
聖者の行進 14
ギター 26
輪 34
三輪鼓 44
太鼓 50
鐘にのって 54
鐘 56
尺八 60
打楽器 63
子守歌にのって 69
Saxophone 84

日本の音階を使って
まとまりのある器楽をつくろう。 43

器楽 p.8

生徒にとっては、各教材を通して自分がどのような音楽の力を身に付けられるのかを確認する際の参考に、指導者にとっては、学習指導計画を立てる際の、また評価規準を考える際の参考にすることができます。

器楽の
学習が
見通せる

中学生の器楽
2 学びが分かる

分かりやすい紙面構成で、 確実な学びを実現します

音楽科における三つの資質・能力を確実に育成できるよう、「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」などを各教材に設定し、一目で分かるように示しています。

学習目標

「何を学ぶか」を明示し、生徒がそれを意識することによって、主体的に学習に取り組むことができます。

活動文

学習目標に迫るための具体的な学習活動を例示。

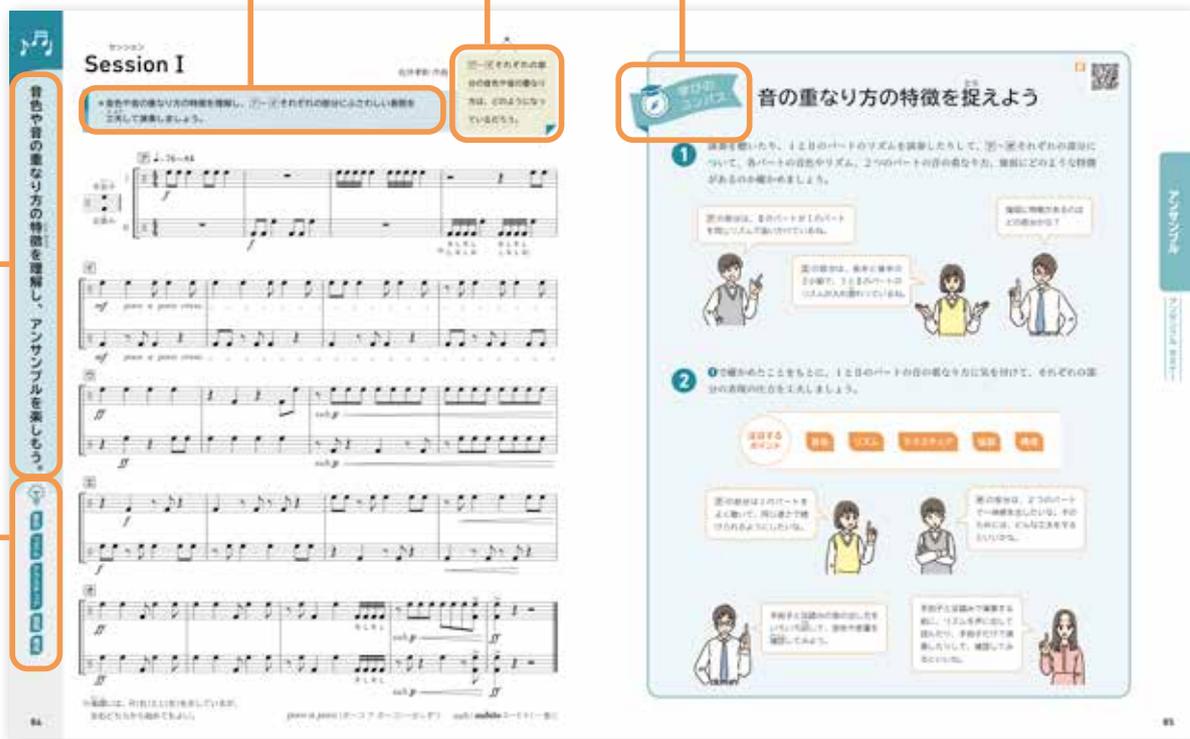
NEW 考えたいポイント

「問いかけ」をすることで、生徒が課題意識をもち、主体的に学習に取り組むことができます。さらに、「見方・考え方」を働かせることで深い学びにもつながります。

NEW 「学びのコンパス」

教科書の手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びを実現することができます（器楽4教材）。

→p.16



器楽p.84

音楽を形づくっている要素

「音楽的な見方・考え方」を働かせる際の大切な視点となる「音楽を形づくっている要素」を各教材に例示。アイコンではなく（共通事項）に示された文言で記載し、より充実した言語活動につなげます。

器楽の学習を通して、資質・能力や音楽的な見方・考え方を身に付けることができます。

各授業の
実践

生徒の興味・関心を広げます

生徒の多様な興味・関心を引き出し、好奇心に働きかけるような内容を取り上げています。

器楽p.68

バンドの世界をのぞいてみよう



小さな恋のうた



バンド
スコア

他ジャンルとの
コラボレーション

器楽p.70

MONGOL BOO

伝統の枠を超えて活躍する
和楽器

近年は、伝統的な音楽だけでなく、さまざまなジャンルの音楽に取り組み、共演することも増えています。



尺八とマリンバ



箏とオーケストラ



津軽三味線とバンド

器楽p.107

楽しもう！ 和楽器の音楽

部活動を通して、和楽器の合奏に取り組んでいる中学生の皆さんを紹介します。

太鼓

真鍮太鼓と締太鼓による合奏です。文化祭で日頃の練習の成果を発表します。鬼神・猿蓑大団次からの演舞を隔って25年以上にわたり行われていたコンサートにも出演していました。



Q 太鼓の魅力は何ですか？

A 体の奥に響くような音の響きです。互いの音を聴き合って、音がピタッと合ったときには「太鼓をやってよかった」と思います。



太鼓の演奏では、息だけでなく動きも大切です。



演奏場と打ち方を確認します。

同世代の
音楽活動

中学生の器楽

3 学びが深まる

豊富なデジタルコンテンツで、 授業や個別最適な学びを支えます

ICTを活用した授業を行えるよう、
二次元コードには学習に役立つ様々なデジタルコンテンツをご用意しました。

巻頭の
メッセージ動画



歌唱共通教材の
演奏と風景動画

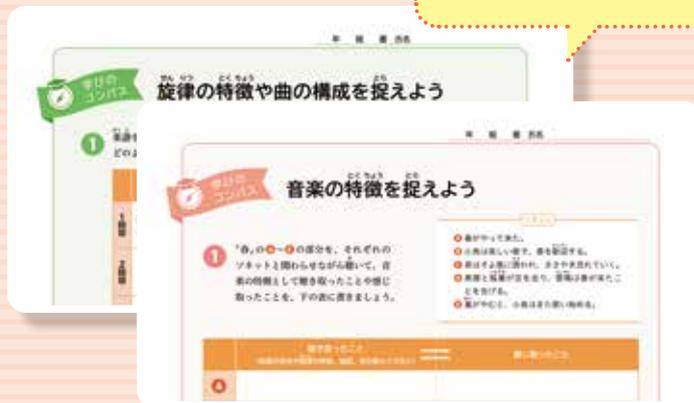


歌唱教材の全曲カラピアノと
パート別音源

※巻末曲はカラピアノのみ



全ワークシートの
PDF



※ここに掲載されているデジタルコンテンツの画像は開発中のものです。
内容やデザインなどは変更になる場合があります。

350点を超



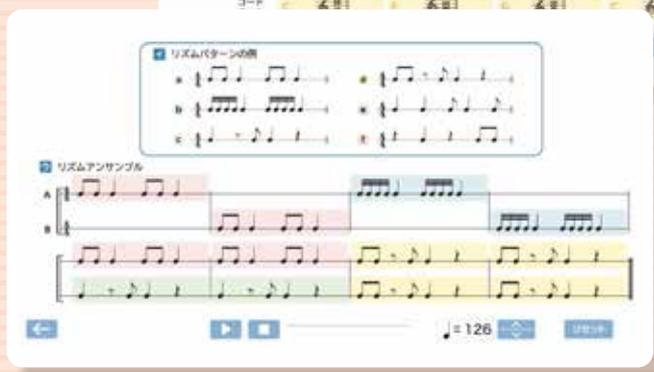


再生部分が
一目でわかります



鑑賞曲の譜例を再生

スムーズな学習を
サポートする創作ツール



えるコンテンツ



編集上の工夫

道徳教育や人権教育に対する配慮

互いの人権を尊重し合うこと、つまり「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」は、人権教育の理念でもあります。教科書で取り上げている楽曲の歌詞の内容や写真については、道徳教育や人権教育の観点に立って、十分に吟味して選んでいます。生徒が自分自身のよさや可能性を認識して個性を生かしながら、多様な他者を価値ある存在として尊重し、協働していくことができるよう配慮しました。

希望と勇気、
克己と
強い意志

友情、信頼

の観点で取り上げることができる歌詞

俯く日も 振り返る日も
つま先だけ いつでも 明日を 向いてる
気づいたから ちゃんと歩き出せる
本当に心が 目指している
自分だけの道を

明日を向いて

2年p.10

何げないあなたの言葉 優しさと強さに溢れ
明日が見えなくなるときは いつも励ましてくれる
忘れないで あのとき声に出し誓ったこと
負けないで 歩いていく
明日へ その先へ

その先へ

1年p.12

変えたいこと 今あるもの
向き合いながら
たましいの望むところに
耳をすませる日
誰かが君にドアを閉めても
世界は君を 君を愛してる
誰かが君に目をそらしても
君は世界にyesと言う

天球図

1年p.80

14-fourteen-
夢のつぼみが 心のどこかで震えてる
14-fourteen-
季節を越えて 花ひらくときを信じてる
ああ 変わりたくて 少しだけ背伸びをした
青い空の向こう側で
手をふるのは誰だろう
点数にならない この胸のときめき
ひろい宇宙の真ん中で
ひとつだけの音楽を奏でてる

14 -fourteen-

2年p.87

作者からのメッセージ

中学校へ入学し、夢や希望、不安が心に溢れる4月。新しい教科書を開く。
未来を見据えて過ごす中で、一人一人がたくさんの思い出を心に刻み、忘れられない経験をするでしょう。この歌詞で描かれるような青春の日々、友達との思い出、大切な人の言葉…そんな宝物を得た3年後、この歌をまた歌って卒業してほしい。そんな想いで書きました。

山崎朋子



自然愛護

▶ 自然保護の原点の地

「夏の思い出」に歌われる尾瀬では、自然保護活動や植生復元、ごみ持ち帰り運動、マイカー規制などの取り組みが熱心に行われています。これらの中には、尾瀬を発祥として全国に広まったものもあることから、尾瀬は我が国における「自然保護の原点」と呼ばれています。

皆さんも、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めましょう。

2年p.21

「夏の思い出」

礼儀

▶ 姿勢と礼儀

上の写真を見てみましょう。奏者の背筋はピンと伸びています。見た目の美しさだけでなく、よい姿勢で演奏することは、よい音を出すことにもつながります。

日本の伝統文化では、「礼に始まり礼に終わる」と

という言葉があるように、作法を守ったり相手に敬意を表したりすることをとても大切にします。箏も同様で、稽古の始めと終わりに、先生と楽器に対して一礼をする習慣があります。

器楽p.36

箏（本コラムの上に、「姿勢と構え方」の写真も掲載されています。）

よりよく 生きる 喜び

音楽は一生を通して楽しむことができ、人それぞれにいろいろな楽しみ方があります。これからも、そういった、楽しむ時間を大切にしていきたいものですね。

1年p.4

「一生を通して楽しむもの」野口聡一

国際理解

中学生も身近に感じられるオリンピックやワールドカップなどの国際試合で、国歌「君が代」が歌われる場面を紹介することにより、他国の国歌・国旗も尊重する態度を養えるよう配慮しています。

国歌・国旗と国際的儀礼

国歌は国旗と並んで、その国を象徴するものとされています。英語では「National Anthem」（直訳すると「国への賛歌」）といいます。

国歌は、国内で行われる式典や行事、大会の他、オリンピック・パラリンピックやスポーツの国際試合など、国際的な場面や場所でもよく歌われます。そこでは自国の国歌だけではなく、他国の国歌も同じように尊重することが国際的な儀礼となっています。



2022年 サッカーワールドカップ(カタール大会)の試合前に「君が代」を歌う日本代表選手たち



2021年 東京オリンピックの開会式で、国旗掲揚に合わせて「君が代」を歌う歌手のMISIAさん

各学年p.99

全ての人にとっての使いやすさを目指して

全ての生徒が使いやすい教科書を目指して編集しました。

「音」を扱う教科書ならではの工夫、さらに音や音楽で表現するための工夫や配慮についてご紹介します。

ユニバーサルデザイン(UD)への配慮

UDフォントの使用

UDフォントを大部分に使用しています。タイトルや文章だけでなく、楽譜中の歌詞にも使うことで、可読性、可視性が高まり、より学習しやすくなりました。

UD FONT



<https://www.morisawa.co.jp/fonts/udfont/>

色覚特性への配慮

色覚特性の違いが学習内容の理解に影響を与えないよう、全ての紙面、図版、イラストについて、先天色覚異常(いわゆる色盲、色弱)をもつかたの助言を受けて編集しました。

識別しやすい色の組み合わせを選ぶだけでなく、境界を白い線で示すなど、可視性を高めるために様々な配慮をしています。

3年p.32

「ブルタバ」はチェコ語、「モルダウ」はドイツ語。オーストリアではドイツ語が使われている。

色彩デザインに関する助言

色覚問題研究グループ ぱすてる



<https://grouppastel.wixsite.com/pastel>

▼ 特別支援教育の視点に立った配慮

歌詞や文章を写真中に入れるときには、**無地の部分に配置したり白文字を使用したり**することで、誰もが読みやすい紙面を目指しました。

全体にレイアウトや囲みの形を工夫し、視認性の高い紙面構成としました。



3年p.10

特別支援教育に関する校閲

田中良広先生（帝京平成大学教授）



紙、印刷、製本の工夫

▼ 使用上の便利さに対する配慮

- 用紙は軽さを追求しつつ破れにくいものになっています。
また、白さや光沢感を調整し、生徒の目への負担軽減にも配慮しています。
- 印刷は発色がよく鮮明でありつつ、楽譜の黒色が光らないよう工夫されています。
また、SDGsに配慮した印刷方法や、再生可能なインクを使用しています。
- 製本はページどうしを接着した、丈夫で長持ちする様式を採用しています。
- 表紙には優れた抗菌作用のある加工を施しています。



https://www.jfpi.or.jp/files/user/pdf/greenprinting/GPandSDGs_leaflet.pdf



https://www.env.go.jp/policy/hozen/green/ecolabel/a04_47.html

新 曲 紹 介

新しい教科書では、様々な分野で活躍するかたから、中学生への思いを託した新作をご提供いただきました。ここではその一部をご紹介します。



覚 和歌子さん

1年p.80
混声二部

天球図

覚 和歌子 作詞／森山至貴 作曲

数多くの合唱曲やJ-POPの作詞を手がけている覚氏と、作曲家であり社会学者でもある森山氏による作品。自分自身を見つめ、そして認めることの大切さをうたった歌詞と、温もり溢れる優しい雰囲気旋律を味わいながら歌いたい。混声合唱の導入にも。



森山至貴さん

2年p.12
混声三部

道を歩けば

山下晃代 作詞／山下祐加 作曲

誰かに寄り添うような作品をつくりたいという思いから生まれた曲。歌詞は山下祐加氏の妹晃代氏による。前半はユニゾン、後半は混声三部のハーモニーを楽しめる構成で、歌詞の内容がのびやかな旋律やピアノ伴奏に表現されている。



新沢としひこさん

2年p.10
混声三部

明日を向いて

新沢としひこ 作詞／アベタカヒロ 作曲

シンガーソングライターで絵本の執筆なども手がける新沢氏と、合唱や子どもの歌を主軸に幅広く活動しているアベ氏のコンビ。前半と後半の曲想の違いを捉えやすいシンプルな構成ながらも、合唱の響きを味わうことができる。



アベタカヒロさん



山下晃代さん



山下祐加さん



覚 和歌子さん

3年p.78
混声三部

タイムリーパー

覚 和歌子 作詞 / 三宅悠太 作曲

「時間」をテーマにした歌詞は、覚氏による書き下ろし。

アニメの主題歌のような世界観をもつ歌詞と、それに心揺さぶられた三宅氏の躍動感溢れる旋律との相乗効果を体感できる作品。ビートを感じながらエネルギーに歌いたい。



三宅悠太さん



弓削田健介さん

2年p.87
混声三部

14 -fourteen-

弓削田健介 作詞・作曲

全国の学校を巡りながらコンサートや講演を行っている弓削田氏による作品。多感な時期である14歳の子どもたちが抱く複雑な思いがドラマティックなピアノに誘われ、壮大なスケールで歌われる。「立志式」などの校内行事にもふさわしい一曲。

佐井孝彰さん



器楽p.84
ボディー
パーカッション

Session I

佐井孝彰 作曲

手拍子と足踏みによるボディー パーカッションの作品。

「学びのコンパス」では、音の重なり方の特徴を捉えることや、表現を工夫するためのヒントになるような内容を掲載。創作の学習と関連させながら取り組むこともできる。



石若 駿さん

器楽p.86
ボディー
パーカッション

Bodipa Beats Z

石若 駿 作曲

多方面で活躍している打楽器奏者、ドラマーの石若氏による作品。手拍子、もも打ち、足踏みによる軽快なリズムに、演奏者はもちろん、聴いている人も一緒に楽しく盛り上がる。模範演奏の動画も活用しながらチャレンジしたい一曲。

各曲の演奏動画はこちら

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL1jOy1aqdKQD1S7gaOV5EbBejLNfZVodm>





指導書

様々な資料や音源、映像で、授業や学習活動を多角的にサポート！
指導者用デジタル教科書もセットされています。



指導用CD
歌唱・伴奏



合唱練習用
CD



鑑賞用
CD



授業支援DVD
日本の
伝統的な歌唱



指導者用
デジタル教科書(教材)
※DVD-ROM

デジタル
教科書も
セットされて
います

書籍

▶ 中学生の音楽

1. 実践編	赤字入り教科書ページなど、指導に直接関わるポイントや留意点を、学習内容に沿って例示
2. 研究編	年間学習指導計画作成例、教材研究(教材解説、評価規準例、指導と評価の計画の例)、鑑賞資料、参考資料 など
3. 伴奏編	教材曲の伴奏譜、移調伴奏譜、参考曲 など

▶ 中学生の器楽

1. 実践編	赤字入り教科書ページ など
2. 研究・伴奏編	指導事例(学習内容の例、評価規準例、学習の流れの例)、楽曲解説、楽器の取り扱いと奏法、教材曲の伴奏譜、参考曲 など

※ここに掲載されている画像や表紙は編集中のものです。内容やデザインなどは変更になる場合があります。

指導者用
デジタル
教科書
(教材)

指導者が大型提示装置に映し出して使用します。
教科書の紙面が大きく表示され、
紙面の拡大や書き込みができるほか、
音源や映像など様々なコンテンツが収録されています。
2種類の方法で使用可能予定：①ローカルインストール ②クラウド配信

体験版はこちら



<https://www.kyogei.co.jp/digitaltextbook/2025jh/trial/>

表示ソフトウェアは「まなビューア」を採用しています。



▶ 中学生の音楽

歌唱	楽譜や縦書き歌詞を単独で映し出すことができ、再生するパートを選択して模範演奏を聴くことができます。
創作	リズムをつくる学習では、選んだカードを移動して再生することができるため、模範を示すことで、生徒が学習の見通しをもって活動に取り組むことができます。
鑑賞	教科書の譜例を大きく表示したり、その部分に対応する音源を聴いたりすることができます。

▶ 中学生の器楽

器楽	和楽器の教材では、楽器の奏法を解説した動画資料などを収録。リコーダーの教材では、楽譜と運指を大きく映しながら音と連動します。
----	--

歌唱

再生部分が一目で分かります。



創作

つくった旋律をクラス全体でスムーズに共有できます。



鑑賞

再生部分や演奏している楽器が一目で分かります。



器楽

奏法のお手本として授業で活用できます。





▶ 中学生の音楽

授業支援DVD	日本の伝統的な歌唱の歌い方についての解説や指導、模範演奏の映像
---------	---------------------------------

▶ 中学生の器楽

授業支援DVD	和楽器の奏法についての解説や模範演奏の映像
---------	-----------------------



プロの演奏家による実演を見ながら、学ぶことができます。



▶ 中学生の音楽

1. 指導用CD	全ての歌唱教材曲の範唱、伴奏（カラピアノ）、カラオケ（一部教材のみ）
2. 合唱練習用CD	合唱教材曲のパート別演奏（教科書版ONTA）
3. 鑑賞用CD	全ての鑑賞教材曲の演奏、鑑賞参考曲の演奏

*『合唱練習用CD』は、教育芸術社の人気シリーズ『Chorus ONTA』の教科書版です。授業で活用するだけでなく、校内合唱コンクールの練習などにも使える便利なアイテムです。

*『鑑賞用CD』は、グラモフォン、デッカなどの世界的レーベルの演奏のほか、優れた演奏音源を多数収録しています。また、鑑賞参考曲もたいへん豊富で、発展的な授業を行うことができます。

▶ 中学生の器楽

指導用CD	全ての器楽教材曲の範奏、伴奏（カラピアノなど）
-------	-------------------------



拡大教科書

弱視の生徒たちのために作成された教科書です。

音楽を学習するうえで、たいへん重要な要素である「楽譜」の見やすさや使いやすさを第一に考え、楽譜のまとまりを見渡せるように配慮したレイアウトになっています。

教科書に掲載されている全ての要素を、見やすい大きさと配色によって、学習の順序を追いながら適切に配置しています。

特に、楽譜や歌詞、絵譜などが見やすいよう、かつ見通しをもって読み取ることができるように、29cm×29cmという判型を採用しているのが特徴です。



学習者用デジタル教科書

紙の教科書に代えて、生徒が1人1台端末で授業で使用することができます。

※音源や動画などのコンテンツは含まれておりません。

体験版はこちら



<https://www.kyogei.co.jp/digitaltextbook/2025jh/trial/>

1 画面の拡大・縮小

教科書の紙面を任意の大きさに拡大して表示することができます。

2 書き込み機能

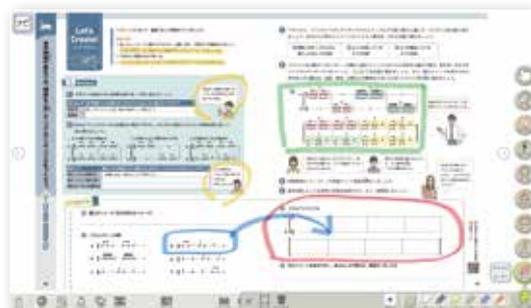
教科書の紙面にペンやマーカーで簡単に書いたり消したりすることができます。

3 ワンタップでアクセス可能

紙面上の二次元コードをクリックすることで、デジタルコンテンツにアクセスすることができます。

4 デジタル教材やICTと一体的に活用

タブレット端末で使用できる機能（録音・録画など）や他のデジタル教材、学習支援ソフトウェアと一体的に活用することで、学習を深めることができます。



特別支援機能

5 機械音声読み上げ

教科書の文章や歌詞を機械音声で読み上げます。

6 リフロー（ほんぶん）

教科書の文章や歌詞をリフロー画面に表示し、文字サイズや間隔、表示色などを変更することができます。

7 白黒反転・色カバー表示

教科書の紙面の背景色や文字色を変更・反転して表示することができます。

8 総ルビ（ふりがな）

教科書の全ての漢字にルビを振ることができます。



特別な支援を必要とする生徒の学習上の困難を軽減することができます。



「カトカトーン」で広がる音楽の学び

「カトカトーン」は、教育現場で活用できる音楽Webアプリケーションです。GIGAスクール構想で整備された1人1台端末の環境で活用でき、創作をはじめとする学習を楽しくサポートします。



<https://www.kyogei.co.jp/katokatone/>

中学生の音楽

教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 英語の学習と関連付けられるように、英語で歌う教材を取り上げている。 	2年p.28、29/ 3年p.26、27
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音符や休符を使った簡単なリズムの読み書きを確実に習得できるような教材が含まれている。 	1年p.16、17/ 2年p.32、33
	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者を尊重し、自然を愛する心を育てることのできる教材や、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げている。 	各学年歌唱教材のページ
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 未来への希望をもつ内容の歌を通して、自らの能力を伸ばす態度を養えるよう工夫されている。 	1年p.10-13/ 2年p.10-15
	<ul style="list-style-type: none"> ● 旋律の音の進行や上行下行などに着目して旋律をつくる活動によって、創造性を培えるよう配慮されている。 	1年p.20-21
	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面のイメージに合わせて音素材を選び、構成を工夫して音楽をつくる学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。 	1年p.38、39
	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉の抑揚や和音に着目して旋律をつくる活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。 	2年p.30、31/ 3年p.28、29
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音色を工夫しながら、反復や変化などを用いて音楽を構成する学習活動を通して、創造性を培えるよう配慮されている。 	2年p.34、35/ 3年p.30、31
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫されている。 	3年p.66、67
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。 	1年p.30-35/ 2年p.14-16/3年p.23
	<ul style="list-style-type: none"> ● 創作におけるグループ活動の中で、協働しながら学習を進められる教材が含まれている。 	1年p.38、39/ 2年p.34、35/3年p.30、31
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。 	1年p.58、59、68、69/ 2年p.68、91/ 3年p.54、55、66、67
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌を通して我が国の美しい自然に対する思いを高められる教材と学習活動が設定されている。 	1年p.22-29/2年p.18-23/ 3年p.10-15、20-22
	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者を尊重し、季節や自然、故郷を大切に思う心を育てることのできる教材を取り上げている。 ● 楽器メーカーによる植樹活動や、環境に配慮した製品開発に関するコラムを掲載することで、環境保全に対する意識を養えるよう工夫されている。 	1年p.70、71/ 2年p.72-75/3年p.23、70、71 3年p.67
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌舞伎役者、松本幸四郎・市川染五郎親子のインタビューを掲載することで、我が国の伝統文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。 	2年p.2、3(p.54-61)
	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の民謡や長唄、義太夫節、謡を歌唱教材として取り上げ、実感をもって我が国の伝統的な歌唱の学習を行えるよう配慮されている。 	1年p.60、61/ 2年p.58、59、66/3年p.48、49
	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、我が国の伝統的な音楽や郷土の音楽を明確な観点をもって学習できるよう工夫されている。 	1年p.50-63/ 2年p.54-69/3年p.42-55
	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽を通して多様性を学び、他国を尊重する態度を養うため、アジアや諸外国の様々な音楽を教材として取り上げている。 	1年p.64、65/ 2年p.70、71/3年p.56-59
	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国で長く歌い継がれている歌を通して、我が国の伝統と文化を尊重する態度を養えるよう工夫されている。 	1年p.70、71/ 2年p.72-75/3年p.70、71
<ul style="list-style-type: none"> ● 国歌「君が代」だけでなく、他国の国歌も同じように尊重することを通して、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。 	各学年p.98、99	

第2条との関連

学習指導要領との関連

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年及び2・3年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。 	各学年目次、p.8,9 及び各学年各ページ
	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして表現や鑑賞の活動を進めたりできるよう、教材が適切に配置され、学習のねらいも分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活とをつなぐことができるよう配慮されている。 ● 音楽活動の経験や音楽科で得た知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。 	各学年目次、各ページ 1年p.2-5、68、69/ 2年p.2-5、91/ 3年p.2-5、66、67
	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のキャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。 	各学年各ページ
目標	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習活動を進めるうえで、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントがキャラクターの吹き出しによって示されるほか、思考した内容を記述する場面を設定したり、作品例やワークシートを掲載したりするなど、手順が分かりやすく、極めて適切なものとなっている。 ● 思いや意図をもって表現したり、音楽や演奏のよさや美しさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。 	1年p.19-21、26、27、32、33、36-39、45、49、54、65、91/ 2年p.16、22、23、29-31、34、35、42、43、61、71、86、94/ 3年p.28-31、37、53、62、89 各学年各ページ
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 1年間の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」(学習内容の見取り)や、1年間の学習を振り返ることができる「音楽を形づくっている要素」、「音楽の学びを振り返ろう」のページを設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 	1年p.8、9、91-93/ 2年p.8、9、92-94/ 3年p.8、9、89、96
	(共通事項)は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● (共通事項)に示された音楽を形づくっている要素が、各教材の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。 ● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、(共通事項)との関連が図れるよう配慮されている。 	各学年各ページ 各学年p.8、9
指導上の配慮や工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、考えたいポイント、学習に必要な情報が明確に示されており、適切に工夫されている。 ● 友達と意見を交換し、学びを深めることができるよう、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家のメッセージにより自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。 ● 「学びのコンパス」では、曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を通して表現や鑑賞の学習を深めることができるよう工夫されている。 ● 巻頭の特集ページ、各鑑賞教材の資料や巻末の楽典事項などを掲載することで、興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。 	各学年各ページ 各学年各ページ 1年p.19、26、27、32、33、45、49、54、65/ 2年p.16、22、23、29、42、43、61、71、86 各学年p.2-5/1年p.43、44、48、50-53、63、94-97/ 2年p.37、41、44、45、50-55、60、62、63、67、95-97/ 3年p.32、33、35、39-41、43-45、51、60-63、97
	言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 知覚・感受したことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、表現教材及び鑑賞教材において、譜例や図版、吹き出しを用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 ● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。 	1年p.20、21、26、27、33、36、38、39、45、49、54、65/ 2年p.17、23、29、30、31、34、35、42、43、61、71、86/ 3年p.28-31、37、53、62 各学年各ページ
	生徒が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国や郷土の伝統音楽を学習する際に、親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、歌ったり手を打ったりする体験活動が示されている。 ● 「指揮をしてみよう!」では、鑑賞曲や歌唱曲を聴きながら指揮をしたり、指揮に合わせて手拍子を打ったり歌ったりすることで、基礎を学びながら実感をもって豊かな音楽活動につなぐことができるよう配慮されている。 	1年p.55、60、61/2年p.58、59、66/3年p.48-50 1年p.40、41/ 2年p.46、47/ 3年p.68、69

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
教材は系統的・発展的に組織されているか。	● 学習指導要領に示されている各学年の目標及び内容を踏まえ、各学年、全学年を通して教材が系統的・発展的に組織されている。	各学年目次、p.8、9 及び各学年各ページ
	● 階名唱、合唱、創作などの系統は、小学校における学習状況や各学年の発達段階を考慮した無理のないものとなっている。	各学年歌唱、創作教材のページ
小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	● 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る、極めて適切な内容となっている。	各学年目次、p.8、9 及び各学年各ページ
	● 1年に小学校の基礎的な学習内容を確認するページが用意されているだけでなく、2年でも同様に繰り返し確認できるよう工夫されている。	1年p.16、17/ 2年p.32、33
教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	● 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。	各学年目次、p.8、9 及び各学年各ページ
	● 関連する表現教材と鑑賞教材は、効果的な学習が期待できるよう配列されている。	1年p.18:20-21、p.36-37:38-39/ 2年p.56-59、64-66/ 3年p.46-49
	● 学習内容をまとめた「学びの地図」で1年間の学習の見通しをもつことができるとともに、「音楽を形づくっている要素」や「音楽の学びを振り返ろう」のページにおいて各学年の重要な学習事項などを自ら振り返って確認することができるなど、効果的な配列となっている。	1年p.8、9、91-93/ 2年p.8、9、92-94/ 3年p.8、9、89、96
基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	● 「リズムゲーム／リズムアンサンブル／リズムチャレンジ」「My Voice!」などのページは、基礎的な学習内容を確認できるように工夫されている。	1年p.14-17/ 2年p.17、23、32、33/ 3年p.19
	● 巻末の充実した楽典事項や「音楽を形づくっている要素」のページで、基礎的・基本的な内容の確認や反復学習ができるよう適切に配慮されている。	1年p.92-97/2年p.92、93、95-97/ 3年p.96、97
各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮はなされているか。	● 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されているなど、細かい配慮がなされている。	各学年目次、p.8、9 及び各学年各ページ
教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	● 全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。	各学年目次、p.8、9 及び各学年各ページ
	● ねらいに即した学習内容や関連教材が有機的に組織されており、教材の学習活動の分量を弾力的に増減できるよう配慮されている。	
	● 文章は分かりやすく丁寧かつ簡潔で、分量も適切なものとなっている。	
教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	● 明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。	各学年各ページ
	● 生徒の心情に即した教材が用意されており、興味・関心をもって学習を進めることができるよう配慮されている。	各学年各ページ
	● 共通教材は「心の歌」と題して明確に示されている。	1年p.22-29/2年p.18-25/ 3年p.10-18、20-22
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適應しているか。	● 歌唱教材の歌詞あるいは楽曲の内容は生徒の心情的な発達段階に沿ったものであり、かつ合唱の編成や各パートの音域についても学年に応じて極めて適切に考慮されている。特に1年では変声期に対応できるよう作・編曲したり、コラムを設けたりしており、学習を進めるうえで極めて適切なものとなっている。	各学年歌唱教材のページ 1年p.10-13、15、30-35
	● 鑑賞教材の取り上げ方は学年の実態に合わせて適切に配慮されている。	各学年鑑賞教材のページ
	● 創作の学習では、小学校の学習を継続、反復、発展させながら、生徒の発達段階に沿って系統的に学べるよう構成されている。	1年p.20、21、38、39/ 2年p.30、31、34、35/ 3年p.28-31
「創作」に関わる学習活動は適切に取り扱われているか。	● 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、「My Melody」「Let's Create!」では学習指導要領に示されたイ(ア)及び(イ)いずれの事項からも、無理なく取り組める教材が分かりやすい手順で丁寧に表示されている。	1年p.20、21、38、39/ 2年p.30、31、34、35/ 3年p.28-31
	● 授業時数や生徒の実態に応じて、弾力的な指導を展開できるよう配慮されている。	各学年創作教材のページ

構成・配列・分量

教材の内容や程度

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
教材の内容や程度	我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い分野から教材を取り上げ、音楽のみならず文化的な側面からも総合的に捉えられるよう工夫されている。 伝統芸能や民謡などは、実際に音楽の一部を体験したり、同世代の中学生の取り組みについて知ったりすることによって、生徒が興味・関心をもち、実感を伴って鑑賞や歌唱の学習に取り組めるよう配慮されている。 	<p>1年p.50-63/ 2年p.54-69/3年p.42-55</p> <p>1年p.55、60、61/ 2年p.58、59、66/ 3年p.48-50、54、55</p>
	唱歌や長く親しまれてきた歌を含めた我が国の音楽文化に対する配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 「心の歌」と題した共通教材では、我が国の文化の視点から説明文や写真が掲載されており、生徒が知的好奇心や感受性を働かせながら歌うことができるよう配慮されている。 各学年に「歌い継ごう 日本の歌」として、唱歌や現在も様々な場で親しまれ歌い継がれている楽曲などが精選して取り上げられるなど、世代を超えて日本の音楽文化を共有することができるよう配慮されている。また、小学校の共通教材「ふるさと」がアカペラによる編曲で3年に掲載されている。 	<p>1年p.22-29/ 2年p.18-25/ 3年p.10-18、20-22</p> <p>1年p.70、71/ 2年p.72-75/ 3年p.23、70、71</p>
	教科等横断的な学びや発展的な学習内容、プログラミング教育について、適切な配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領に示された事項以外の内容を掲載したり、他教科との関連を図ったりすることで、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「この頃、日本では…!?!」、「耳でたどる音楽史」、能「敦盛」、「Hey Jude」、特集などが適切に掲載されている。 創作の活動を通してプログラミング的思考を育成できるよう、適切に配慮されている。 	<p>1年p.44、48、63/ 2年p.37、41、50、67/ 3年p.26、27、32、35、39-40、41、46-50、90-95</p> <p>1年p.20、21、38、39/ 2年p.30、31、34、35/ 3年p.28-31</p>
	個別最適な学びや協働的な学びの実現に向けた配慮や取り組みはなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の興味・関心に応じて活用できる資料が、紙面及び二次元コードのデジタルコンテンツに豊富に用意されていたり、協働して学習を進める場面も設定されるなど十分に配慮されている。 	各学年各ページ
	国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱教材や鑑賞教材において、諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、アジアや世界の音楽文化を扱った教材や原語を取り入れた教材などが適切に配置されている。 心の触れ合いの大切さを味わえる歌唱教材を取り上げるなど、道徳との関連にも行き届いた配慮がなされている。 音楽に関する知的財産権やインターネット上の音楽利用について、著作権を尊重する気持ちを育てるとともに、「なぜルールを守らなければいけないのか」という視点で分かりやすく説明されている。 歌唱教材などを通して、環境保護について迫ることのできるコラムが掲載されている。 国歌「君が代」だけでなく、他国の国歌を尊重する態度を養う観点から、国際理解にもつながるコラムが掲載されている。 	<p>1年p.18、19、36、37、40-49、64、65/ 2年p.26-29、36-53、70、71/ 3年p.24-27、32-41、56-61</p> <p>1年p.10-13、30、31、70-90/ 2年p.10-13、72-90/ 3年p.23、26、27、70-88</p> <p>1年p.66、67/ 3年p.64、65</p> <p>2年p.21/ 3年p.67</p> <p>各学年p.98、99</p>
表記・体裁・装丁	内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進めるうえで適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。 イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。 	各学年各ページ
	ユニバーサルデザインへの配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 文章や歌詞、楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。 楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。 	各学年各ページ
	全体の体裁は教科書として適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> AB変型判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすいうえ、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、極めて適切なものとなっている。 表紙は、感性豊かに音楽活動を楽しむ様子が親しみやすく表現されており、主体的に音や音楽に親しめるよう配慮されている。 	<p>各学年各ページ</p> <p>各学 years 表紙</p>
	印刷・製本などは適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> 全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。 製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式のものとなっている。 再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど、環境にも十分配慮されている。 	各学年全ページ

中学生の器楽

教育基本法との関連

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
第一号 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 器楽の活動を通して、音楽科の学力を高めることのできる教材を配置し、学習手順が分かりやすく示されている。 	p.16、17、54、55、80、81、84、85
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各楽器の特徴や基本的な奏法を理解できるよう、分かりやすい写真と丁寧な説明文で示されている。 	p.10-67
	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々なジャンルの名曲の旋律をリコーダーや和楽器などで演奏することを通して、それらに親しめるよう工夫されている。 	p.96-99
	<ul style="list-style-type: none"> ● 他者を尊重し、道徳的観点と関連付けられる教材を取り上げている。 	p.16、17、54、55、71-95
第二号 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 生徒一人一人の創造性を培えるよう、創作の学習内容が示されている。 	p.43
	<ul style="list-style-type: none"> ● プロの演奏家のメッセージなどを通して、音楽と職業との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養えるよう工夫されている。 	p.2、3、34、44、50、56、60
第三号 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ活動の中で、協働しながら学習を進められる教材が含まれている。 	p.16、17、54、55、71-95
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各パートの役割を知り、その役割を一人一人が担うことを通して、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるよう工夫されている。 	p.54、55、80-83
	<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土の祭りや芸能など、音楽が生活や社会の中で果たしている役割に気付く学習活動を通して、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養えるよう工夫されている。 	p.50、56、59
第四号 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 人が楽器を演奏するという点について、社会とのつながりの中で理解することができるよう工夫されている。 	p.2-5
	<ul style="list-style-type: none"> ● 沖縄を拠点に、自然体の言葉で平和を願うメッセージを発信しているバンドMONGOL800を楽曲とともに紹介し、郷土愛とともに生命の尊さを学ぶことができるよう工夫されている。 	p.68、69
第五号 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。	<ul style="list-style-type: none"> ● 和楽器を活用した学習活動を通して、我が国の伝統的な音楽に親しみ、そのよさを味わえるよう配慮されている。 	p.34-62
	<ul style="list-style-type: none"> ● 諸外国の音楽で使用する楽器を紹介し、それらを用いる音楽により親しめるよう工夫されている。 	p.10-33、63-67
	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、我が国の伝統的な音楽やその手法を用いた教材が掲載されている。 	p.92-95
	<ul style="list-style-type: none"> ● 我が国の伝統と文化を尊重する態度を養うために、我が国の伝統的な音楽に使われている楽器が分類されて示されている。 	p.59
	<ul style="list-style-type: none"> ● 和楽器を演奏している中学生の姿や和楽器が伝統の枠を超えて活躍する様子を紹介することによって、我が国の伝統的な音楽や楽器への親しみをもてるよう工夫されている。 	p.70、107
	<ul style="list-style-type: none"> ● 打楽器奏者、ドラマーの石若駿氏のインタビューを掲載し、楽器を通して音楽文化に親しみ、それらを尊重する態度を養えるよう工夫されている。 	p.2、3

第2条との関連

学習指導要領との関連

	観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
範囲	取り扱う内容の範囲は、学習指導要領の目標及び内容によっているか。	● 教科及び各学年の目標と内容を踏まえて精選された教材によって、必要な範囲の内容が十分に、かつ無理なく取り扱えるよう構成されており、音楽科の目標を達成するという観点から極めて適切なものとなっている。	目次、p.8、9 及び各ページ
	音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することができるよう配慮されているか。	● 音楽活動を通して、無理なく音楽を形づくっている要素を捉えたり、それらを生かして器楽や創作の活動を進めたりできるよう、教材が適切に配置され、学習のねらいも分かりやすく示されており、音楽と豊かに関わりながら、学校での学びと自らの生活とをつなぐことができるよう配慮されている。 ● 音楽活動の経験や音楽科で得た知識を、学校生活や家庭、地域社会での生活に生かすことができるように、生活の中にある様々な音や音楽への関心を促す特集が配置されている。	目次、各ページ p.2-5、50、56、59、107
目標	「知識及び技能」の習得に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 曲想と音楽の構造などとの関わりについての気付きや理解を促す内容のコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しが適切に配置され、学習目標や学習活動との結び付きが分かりやすくなっている。	各ページ
	「思考力、判断力、表現力等」の育成に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 学習活動を進めるうえで、知覚・感受したことをもとに「思考、判断、表現」を行うためのヒントがキャラクターの吹き出しによって示されるほか、思考した内容を記述する場面が設定されており、実際に演奏して確かめるなど、極めて適切なものとなっている。 ● 「学びのコンパス」では、表現活動を通して思考力・判断力を育む場面も設定されている。	p.16、17、54、55、80、81、84、85 p.17、55、81、85
	「学びに向かう力、人間性等」の涵養に関する目標の達成に向けて、工夫はなされているか。	● 思いや意図をもって表現したり、自分や人の演奏のよさや美しさを味わいながら聴いたりするために必要な情報が適切に示されている。	各ページ
		● 器楽の学習の見通しをもつことができる「学びの地図」（学習内容の見取り）を設けることで、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。	p.8、9
〔共通事項〕	（共通事項）は、学習指導を進めるうえで適切に扱われているか。	● （共通事項）に示された音楽を形づくっている要素が、アンサンブルセミナーや創作の学習目標の下に示されており、適切に扱われている。 ● 学習内容をまとめた「学びの地図」には音楽を形づくっている要素が明示されており、各教材の学習目標及びそれに関わる学習の窓口となっている。指導計画作成の際にそれらを活用することにより、〔共通事項〕との関連が図れるよう配慮されている。	p.16、43、54、80、84 p.8、9
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、配慮や取り組みはなされているか。	● 意欲をもって主体的に学習を進められるよう、各教材において、目標とする学習内容やその方法、考えたいポイント、学習に必要な情報が明確に示されており、適切に工夫されている。 ● 友達と意見を交換し、学びを深めることができるよう、「知識・技能」に関するコラムや「Q&A」、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されているほか、専門家のメッセージにより自分の考えを広げたり深めたりすることができるよう配慮されている。 ● 「学びのコンパス」では、曲に対する自分の考えをもち、友達との意見交流を通して器楽の学習を深めることができるよう工夫されている。 ● 巻頭の特集ページ、巻末の楽典事項や各種の資料などを掲載することで、興味・関心をもちながら主体的に学習を進めることができるよう工夫されている。	各ページ 各ページ p.17、55、81、85 p.2-5、59、68-70、100-107
指導上の配慮や工夫	言語活動の充実に向けた配慮はなされているか。	● 知覚・感受したことをもとに思考、判断し、理解したことを言葉や音楽で表現できるよう、譜例や吹き出しを用いて説明されており、それらを活用することで、言語活動の充実を図ることができるよう工夫されている。 ● 音楽を形づくっている要素を文字で示すことで、言語活動の充実を図っている。	p.17、43、55、81、85 各ページ
	生徒が実感をもって学習を進めるための体験活動や体を動かす活動は、適切に設定されているか。	● 和楽器を学習する際に、親しみや実感をもって音楽に接することができるよう、唱歌や口三味線を歌う活動が示されている。	p.40、42、49、53、54、58、62、92-95

編集上の工夫や特色

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ	
構成・配列・分量	小学校における学習内容との系統性・一貫性に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校学習指導要領の学習内容との系統性がしっかりと確保されており、義務教育9年間を通して音楽科の目標に迫る、極めて適切な内容となっている。 	目次、p.8、9 及び各ページ
	教材の配列は単なる羅列ではなく、楽曲の性格に即して適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な楽器及び楽曲の特徴に合った、効果的な選曲や配列がなされており、極めて適切である。 	目次、p.8、9 及び各ページ
		<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領の内容及び楽曲の性格に即して、ねらいを明確化した教材が適切に配列されている。 	目次、p.8、9 及び各ページ
		<ul style="list-style-type: none"> ● 学習内容をまとめた「学びの地図」で器楽の学習の見通しをもつことができるよう工夫されている。 	p.8、9
	基礎的・基本的な学力の定着については、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽器の奏法などについては適切な文章とイラスト、写真を用いて解説されており、楽器の基礎的な技能の習得に配慮されている。 	p.10-67
		<ul style="list-style-type: none"> ● 「学びのコンパス」「Q&A」や各所のコラムでは、小学校で身に付けたことや、音色などの基礎的な学習内容を確認し、繰り返し学習できるよう工夫されている。 	p.12、15、17、18、21、28、30、37、38、48、53、55、61、65、81、85
	各学校や生徒の実態に応じた学習指導計画を立てるための配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各学校や生徒の実態に応じて柔軟な指導計画を作成できるよう、教科書上では題材に束縛されないようになっている一方、学習内容をまとめた「学びの地図」や各教材においては題材設定のヒントとなる音楽を形づくっている要素が示されているなど、細かい配慮がなされている。 	目次、p.8、9 及び各ページ
		<ul style="list-style-type: none"> ● 学習内容をまとめた「学びの地図」においては学習指導要領に示されている器楽の学習内容や音楽を形づくっている要素が示されているなど細かい配慮がなされており、指導計画を立てるうえで適切なものとなっている。 	p.8、9
		<ul style="list-style-type: none"> ● 様々な楽器編成に対応できるよう編曲上の工夫がなされており、極めて適切なものとなっている。 	p.16、17、54、55、74-76、80-85、88-91、94、95
	教材や文章の分量、バランス、内容は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 各楽器がバランスよく取り上げられており、それらを用いた楽曲についても過不足なく扱われている。 	目次、p.8、9 及び各ページ
<ul style="list-style-type: none"> ● 全体を通して、過不足ない分量の教材が取り扱われ、各教材の学習内容が明確に示されるとともに、それに即した活動の具体的な手立てやヒントが分かりやすく適切に取り上げられるなど、目的に応じた扱い方の工夫がなされている。 			
<ul style="list-style-type: none"> ● 文章は分かりやすく丁寧かつ簡潔で、分量も適切なものとなっている。 			
教材の選択及び扱いは、学習指導を進めるうえで適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 明確な学習の観点のもと、幅広く変化に富んだ学習活動を行えるよう多様な教材が用意されており、意欲的に取り組めるよう適切に配慮されている。 	各ページ	
	<ul style="list-style-type: none"> ● リコーダー、ギター及び箏、三味線、太鼓、篠笛、尺八の5種類の和楽器、打楽器が豊富な写真を用いて扱われており、生徒の主体性を引き出す工夫がなされている。 	p.10-67	
	<ul style="list-style-type: none"> ● プロの演奏家の写真やメッセージなどが豊富に掲載され、楽器への興味・関心・意欲を高めるために極めて適切な内容となっている。 	p.2、3、10、26、34、44、50、56、60	
教材や学習活動の程度は、生徒の心身の発達段階や能力の実態に適応しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽曲の内容は、生徒の心情に合ったものが、様々な習熟度に応じた編曲で取り上げられており、極めて適切なものとなっている。 	各ページ	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 各楽器のページにおいては、生徒の実態に合わせて基礎的な技能を習得できるよう、きめ細かな配慮がなされている。 	p.10-67	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校における「音楽づくり」の学習内容を踏まえながら、箏を用いて無理なく行える創作の活動が設定されている。手順も丁寧に示されており、極めて適切なものとなっている。 	p.43	

観点	教科書の特徴	具体例の参照ページ
我が国の伝統や文化に関する教材の扱いにおいては、生徒が我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもてるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 和楽器のページにおいては、楽器の奏法に関するだけでなく、姿勢や礼儀などについてのコラムも掲載され、適切に配慮されている。また導入として各楽器を用いた鑑賞曲も取り上げられており、我が国の伝統的な音楽文化の理解という観点から極めて適切なものとなっている。 	p.34-62
	<ul style="list-style-type: none"> ● 和楽器を用いた平易なアンサンブル曲や、生徒にとって親しみやすい曲が取り上げられており、我が国の伝統音楽のよさを味わい、愛着をもつことができるよう配慮されている。 	p.54、55、92-95、98、99
	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻末の資料では、同世代の中学生による和楽器の演奏写真が取り上げられており、和楽器を一層身近なものとして捉えることができるよう工夫されている。 	p.107
発展的な学習内容について、適切な配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学習指導要領に示された事項以外にも、生徒の興味・関心・意欲を高めて学習を一層深めることができるよう、「バンドの世界をのぞいてみよう」「伝統の枠を超えて活躍する和楽器」を掲載しており、極めて適切に配慮されている。 	p.68-70
国際理解、情報、環境、人権教育など、社会的及び道徳的教育課題の扱いは、適切に配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 様々なアンサンブル活動を通して、協働しながら学習を進められるほか、箏のページにおいては、「姿勢と礼儀」についても触れているなど、適切に配慮されている。 	p.16、17、36、54、55、71-95
	<ul style="list-style-type: none"> ● 諸外国の音楽文化に対する理解を深められるよう、様々な国の楽器や楽曲を取り上げている。 	p.4、5、10-33、63-67、71-73、76-79、82、83、87、96、97、101、104、105
『中学生の器楽』と『中学生の音楽』の内容は、連携を図れるよう配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 歌唱教材、鑑賞教材で扱われている作品を、実際に楽器で演奏することで連携を図れるよう、適切に配慮されている。 	p.24、40、72、78、79、99
	<ul style="list-style-type: none"> ● 巻頭の特集、巻末の楽典事項、「学びのコンパス」「My Melody」などのページは、『中学生の音楽』と同様の体裁で統一感をもたせるなど、全体に連携して使用しやすいよう工夫されている。 	p.2-9、16、17、43、54、55、80、81、84、85、106
内容に誤りや粗雑なところはなく、楽譜や説明文、図版などは学習指導を進めるうえで適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽譜や文章などの記述に誤りはなく、文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形など、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。 	各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● イラストや写真などについても粗雑なところはなく、音楽的感覚の育成や知的理解、学習活動の一助となるよう生徒の感性に即して適切に扱われている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽譜は全体的にたいへん見やすく、和楽器においては、和楽器固有の記譜法を掲載するなど、様々な指導実態に適応できるよう配慮されている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 説明文は簡潔かつ明瞭であり、全体にわたって美しく分かりやすい写真や図版が豊富に用いられているため、学習指導を進めるうえで極めて効果的である。 	
ユニバーサルデザインへの配慮はなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全体に区別しやすい配色を用いながら、学習上の必要に応じて形状や濃度を違えるなど、確実に識別できるよう配慮されている。 	各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章や楽譜などの近くにイラストや写真を配置する場合には、学習上必要な情報に確実に注目することができるよう、シンプルなデザインが採用されており、学習障害などをもつ生徒への配慮も行き届いている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 楽譜を含めた大部分のページでユニバーサルデザインフォントが使用されており、誰もが読みやすい文章や楽譜となるよう配慮されている。 	
全体の体裁は教科書として適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● AB変型判の紙面は左右にゆったりとして、楽譜や歌詞が見やすいうえ、レイアウトも美しく統一感がある。楽曲と学習する内容との関係も分かりやすく示されているなど、極めて適切なものとなっている。 	各ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● 表紙は、感性豊かに音楽活動を楽しむ様子が親しみやすく表現されており、主体的に音や音楽に親しめるよう配慮されている。 	表紙
印刷・製本などは適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● 全ページにわたって4色刷りで、文字・イラスト・写真など印刷の発色もよく、鮮明なものとなっている。楽譜を見やすくするために黒色が光らないよう工夫されている。 	全ページ
	<ul style="list-style-type: none"> ● 製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちする様式のものとなっている。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど、環境にも十分配慮されている。 	

教材の内容や程度

表記・体裁・装丁

著作者

[監修]

小原光一（元横浜国立大学教授）

飯沼信義（桐朋学園大学名誉教授）

浦田健次郎（東京藝術大学名誉教授）

[執筆・編集]

石上則子（元東京学芸大学准教授）

今井由喜（東京都渋谷区立渋谷本町学園中学校教諭）

勝山幸子（東京都港区立御成門中学校主任教諭）

佐井孝彰（作曲家）

齊藤忠彦（信州大学教授）

佐野 靖（東京藝術大学副学長）

鹿谷美緒子（作曲家）

杉本竜一（作曲家）

杉山利行（神奈川県相模原市立相武台中学校総括教諭）

副島和久（佐賀県佐賀市立金立小学校校長）

滝口亮介（洗足学園音楽大学名誉教授）

富澤 裕（合唱指揮者）

長谷部匡俊（作曲家）

藤原道山（尺八演奏家）

三宅悠太（作曲家）

吉澤 実（リコーダー奏者）

教育芸術社編集部

編集協力

青木鈴慕／伊藤多喜雄／今藤政太郎／今藤政子／

大城 學／大萩康司／北中正和／児玉竜一／薦田治子／

清水寛二／鈴木優人／豊竹呂勢太夫／中村仁美／

西川浩平／配川美加／長谷川 慎／ヒダノ修一／

俵木 悟／森重行敏／山田和樹／吉田純子

色彩デザインに関する助言

色覚問題研究グループばすてる

特別支援教育に関する校閲

田中良広（帝京平成大学教授）

所属等は令和6年3月時点のもの

デザイン：株式会社 dig

イラスト：いつか

株式会社 教育芸術社

〒171-0051 東京都豊島区長崎1-12-14

TEL. 03-3957-1175(代表)

<https://www.kyogei.co.jp/>令和7年度『中学生の音楽』『中学生の器楽』に関する詳細は、
教育芸術社ホームページからご覧いただけます。<https://www.kyogei.co.jp/textbook/jh/jh-r7>